

令和3年度決算 概要版

地方公会計制度による君津都市広域市町村圏事務組合の財務書類を公表します



1年間の歳入・歳出の動きを現金中心に記録する地方公共団体の会計書類は、それだけでは資産や負債の内容、また将来どれだけの負担があるのかが明確ではありません。君津都市広域市町村圏事務組合では、それらの課題に対応するために固定資産台帳を整備し、総務省から新たに示された「統一的な基準」に基づいた財務書類を作成しました。この企業会計の手法を取り入れた「地方公会計制度」に基づく財務書類により、組合全体の財務状況を一目で把握することができます。

行政コスト及び純資産変動計算書 PL・NWM

(単位：千円)

令和3年4月1日から令和4年3月31日	一般会計等	連結
(1) 経常費用 行政サービスに要したすべての費用	827,893	827,930
①人件費 職員給与や賞与引当金繰入額、退職手当引当金繰入額など	245,214	245,217
②物件費 物件費、維持補修費、減価償却費など	561,154	561,176
③その他の業務費用 火災保険料や支払利息など	696	696
④移転費用 補助金や社会保障給付など	20,829	20,841
(2) 経常収益 施設使用料や証明書発行手数料、など	17,228	17,229
(3) 臨時損失 資産の売却却損など臨時に発生するもの	0	0
(4) 臨時利益 資産の売却益など臨時に発生するもの	0	0
純行政コスト (1) - (2) + (3) - (4)	810,665	810,701
(5) 財源	824,060	824,087
①税金等 構成市からの負担金など	819,469	819,488
②国県等補助金 国や県からの補助金収入	4,591	4,599
本年度差額 (財源) - (純行政コスト)	13,395	13,386
(6) 資産評価差額 有価証券等の評価差額など	0	0
(7) 無償所管替等 無償で譲渡または取得した固定資産の評価額など	0	0
(8) その他の純資産変動額	0	0
本年度純資産変動額 (本年度差額) + (6) + (7) + (8)	13,395	13,386
前年度末純資産残高	145,965	146,019
本年度末純資産残高 (本年度純資産変動額) + (前年度末純資産残高)	159,360	159,405

PL・NWM概要

行政コスト及び純資産変動計算書(PL・NWM)は、財務4表形式の行政コスト計算書と純資産変動計算書をつつにまとめたものです。

【行政コスト計算書】

1年間の行政運営コストのうち、福祉サービスなどの提供といった資産形成に結びつかない行政サービスに要したコストを、「人件費」「物件費」「その他の業務費用」「移転費用」に区分したものです。

【純資産変動計算書】

純資産(過去の世代や国・県が負担した将来返済しなくてもよい財産)が年度中にどのように増減したかを「財源」「資産評価差額」「無償所管替等」「その他」に区分したものです。

資金収支計算書(キャッシュ・フロー) CF

(単位：千円)

令和3年4月1日から令和4年3月31日	一般会計等	連結
(1) 業務活動収支 (④-③+②-①)	29,550	29,553
①業務支出 継続的な支出(人件費・物件費・補助金等支出・社会保障支出など)	811,738	811,764
②業務収入 継続的な収入(税金等収入・国県等補助金収入など)	841,288	841,317
③臨時支出 臨時的な支出(災害復旧事業費支出など)	0	0
④臨時収入 臨時的な収入(資産の売却に伴う収入など)	0	0
(2) 投資活動収支 (②-①)	▲ 15,272	▲ 15,271
①投資活動支出 公共施設などの資産形成及び金融資産形成	15,272	15,272
②投資活動収入 資産形成に充てられた補助金、土地等の売却収入など	0	1
利払後基礎的財政収支 (1) + (2)	14,278	14,282
(3) 財務活動収支 (②-①)	0	▲ 1
①財務活動支出 地方債や借入金などの元本の償還	0	1
②財務活動収入 地方債や借入金の収入	0	0
A 本年度資金収支額 (1) + (2) + (3)	14,278	14,281
B 前年度末資金残高	43,552	43,555
C 比例連結割合変更に伴う差額	0	0
D 本年度末資金残高 (A) + (B) + (C)	57,830	57,836
E 前年度末歳計外現金残高	3,244	3,244
F 本年度歳計外現金増減額	▲ 14	▲ 14
G 本年度末歳計外現金残高 (E) + (F)	3,230	3,230
H 本年度末現金預金残高 (D) + (G)	61,060	61,066

貸借対照表(バランスシート) BS

(単位：千円)

資産	一般会計等		連結		負債	一般会計等		連結	
(1) 固定資産	122,036	122,089	(1) 固定負債	20,506	20,520				
① 有形固定資産	101,530	101,554	① 地方債等	0	12				
② 無形固定資産	0	0	② 退職手当引当金	20,506	20,508				
③ 投資その他の資産	20,506	20,535	③ その他	0	0				
(2) 流動資産	61,060	61,068	(2) 流動負債	3,230	3,233				
① 現金預金	61,060	61,066	① 1年内償還予定地方債等	0	3				
② 未収金	0	0	② 預り金	3,230	3,230				
③ 短期貸付金	0	2	③ その他	0	0				
④ 財政調整基金等	0	0	負債 合計	23,736	23,753				
⑤ 徴収不能引当金	0	0	純資産						
⑥ その他	0	0	純資産 合計	159,360	159,405				
資産 合計	183,096	183,157	負債・純資産 合計	183,096	183,158				

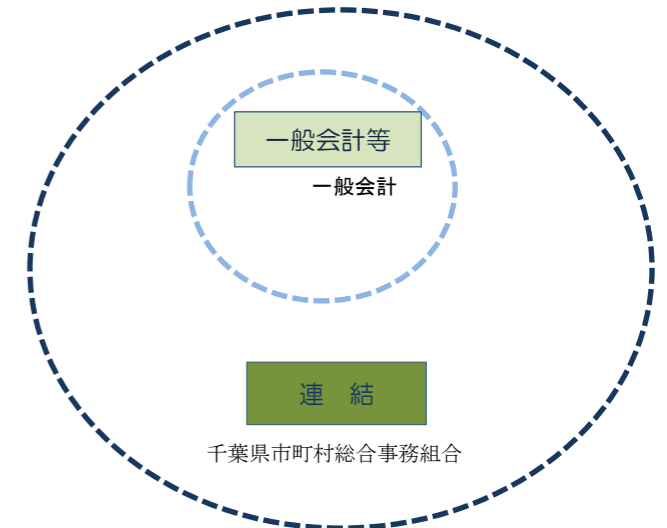
CF概要

【資金収支計算書】

1年間の資金の増減を、現代世代のための「業務活動収支」、将来世代のための「投資活動収支」、将来世代が負担すべき「財務活動収支」という3つに区分したものです。

【利払後基礎的財政収支(プライマリーバランス)】

1年間の資金の増減から、地方債などの財務活動収支を除いたものです。



BS概要

【貸借対照表】

年度末時点で保有する資産、負債などの残高(ストック情報)を示したものです。また、貸借対照表は「資産」と「負債・純資産」の合計が同額となり、左側と右側が釣り合う為、バランスシートともいいます。

【資産】

君津都市広域市町村圏事務組合が保有している固定資産や、現金預金・基金などの金融資産を表しており、組合全体で約2億2,900万円の財産(サービス提供能力)を保有していることとなります。

【負債・純資産】

表の右側は、「資産」をどのような財産(負債と純資産)で賄ってきたかを示しており、「負債」は将来世代の負担、「純資産」は現在までの世代の負担を表しています。

君津都市広域市町村圏事務組合の連結の場合、これまでの世代の負担で約1億6,000万円の支払いが済んでおり、残りの約2,400万円をこれからの世代が負担することになります。財政運営は、これら世代間の負担バランスを考慮した上で行っていく必要があります。